

ストックマネジメント計画に基づく管路診断業務委託 特記仕様書

1. 業務目的

本業務は、特記仕様書に示す委託施設について、TVカメラ調査結果等をもとに、異常の程度を評価し、対策の必要性について診断を行うことを目的とする。

2. 業務の対象

- (1) 委託名称 ストックマネジメント計画に基づく管路診断業務委託
- (2) 業務箇所 多治見市 池田町他 地内

3. 業務内容

(1) 診断

診断は、管路施設の異常の程度を評価し、緊急度及び対策の要否を明らかにするもので、TVカメラ調査等の結果から、別添判定基準及び下水道維持管理システムの自動判定機能により評価する。

- ① TV調査結果取込み機能による調査結果のデータ登録(中間協議時)
- ② システム自動判定機能による診断結果のExcel データの貸与(中間協議時)

＊) 別添判定基準の備考③に示す同一箇所で複数の不良が発生している場合に注意すること。

- ③ 不良ランク分布図（不良ランク別に着色した調査箇所図）の納品(最終協議時)

(2) 設計協議

設計協議は、初回、中間（1回）、最終の計3回を基本として行うが、疑義が生じた場合など適宜実施する。

4. 環境配慮

本業務では、環境に配慮したリサイクル材料の使用に努めること。受注者は、事業全般にわたって環境への配慮、環境負荷への低減行動に努めるものとする。

- (1) 本業務における移動・運搬においては、合理化・効率化を図るとともに低公害型の手段を用いること。
- (2) 排出された廃棄物を適正に処理すること。
- (3) 本業務周辺の環境の清掃及び美化に努めること。

5. 妨害又は不当要求に対する通報の義務

受注者は契約の履行に当たり、暴力団又は暴力団員等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求を受けた場合又は契約の適正な履行を妨害された場合は警察に通報しなければならない。なお、これらの不当介入を受けたにも関わらず通報しない場合は指名停止措置を講じることがある。

受注者は暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことに起因して履行期間内に契約内容を完了することができないときは、発注者に対して履行期間の延長を請求することができる。

別添）判定基準

調査判定基準【鉄筋コンクリート管等（遠心力鉄筋コンクリート管含む）及び陶管】（案）

スパン全体で評価			A	B	C
	管の腐食		鉄筋露出状態 (局所的な破損による露出は含まない)	骨材露出状態	表面が荒れた状態
	上下方向のたるみ	管渠内径700mm未満	内径以上	内径の1/2以上	内径の1/2未満
		管渠内径700mm以上1650mm未満	内径の1/2以上	内径の1/4以上	内径の1/4未満
		管渠内径1650mm以上3000mm以下	内径の1/4以上	内径の1/8以上	内径の1/8未満

管一本ごとに評価			a	b	c
	管の破損及び軸方向クラック	鉄筋 コンクリート管等	欠落	軸方向のクラックで幅2mm以上	軸方向のクラックで幅2mm未満
			軸方向のクラックで幅5mm以上		
		陶管	欠落	軸方向のクラックが管長の1/2未満	－
			軸方向のクラックが管長の1/2以上		
	管の円周方向クラック	共通	破損により裏土が見える (管内への土砂流入の恐れがある)	裏土は見えない 破損により鉄筋が見える	放置可能な剥落程度
		鉄筋 コンクリート管等	円周方向のクラックで幅5mm以上	円周方向のクラックで幅2mm以上	円周方向のクラックで幅2mm未満
		陶管	円周方向のクラックでその長さが円周の2/3以上	円周方向のクラックでその長さが円周の2/3未満	－
	管の継手ズレ		脱却	H P：20mm～脱却 T P：15mm～脱却	H P：15～20mm T P：10～15mm
	浸入水		噴き出ている	流れている	にじんでいる
	取付管の突出し		本管内径の1/2以上	本管内径の1/10以上	本管内径の1/10未満
	油脂の付着		内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	－
	樹木根侵入		内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	－
	モルタル付着		内径の3割以上	内径の1割以上	内径の1割未満

注1 段差は、mm単位で測定する。また、その他の異常（木片、他の埋設物等で上記にないもの）も調査する。
注2 取付管の突出し、油脂の付着、樹木根侵入、モルタル付着については、基本的に清掃等で除去できる項目とし、除去できない場合の調査判定基準とする。
注3 管更生の前処理が必要になる特殊な不良箇所があれば、上記の判定基準によらず本管記録表及び報告書に明記すること。

調査判定基準【硬質塩化ビニル管】（案）

スパン全体で評価	ランク		A	B	C
	項目	適用			
	上下方向のたるみ	管渠内径800mm以下	内径以上	内径の1/2以上	内径の1/2未満

管一本ごとに評価	ランク	a	b	c
	項目			
	管の破損及び軸方向クラック	亀甲状に割れている	－	－
		軸方向のクラック		
	管の円周方向クラック	円周方向のクラックで幅5mm以上	円周方向のクラックで幅2mm以上	円周方向のクラックで幅2mm未満
	管の継手ズレ	脱却	V U：25mm～脱却	V U：20～25mm
	偏平	たわみ率15%以上の偏平	たわみ率5%以上の偏平	－
	変形※ (内面に突出し)	本管内径の1/10以上内面に突出し	本管内径の1/10未満内面に突出し	－
	浸入水	噴き出ている	流れている	にじんでいる
	取付管の突出し	本管内径の1/2以上	本管内径の1/10以上	本管内径の1/10未満
	油脂の付着	内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	－
	樹木根侵入	内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	－
	モルタル付着	内径の3割以上	内径の1割以上	内径の1割未満

※材料の白化が伴う変形はaランクとする。
注1 段差は、mm単位で測定する。また、その他の異常（木片、他の埋設物等で上記にないもの）も調査する。
注2 取付管の突出し、油脂の付着、樹木根侵入、モルタル付着については、基本的に清掃等で除去できる項目とし、除去できない場合の調査判定基準とする。
注3 管更生の前処理が必要になる特殊な不良箇所があれば、上記の判定基準によらず本管記録表及び報告書に明記すること。

ランク (スパン全体での評価)	判定の基準（不良発生率）		
	a	b	c
A	20%以上 もしくは	40%以上	—
B	20%未満	40%未満 もしくは	60%以上 もしくは
C	0%	0%	60%未満

緊急度	判定基準	対応の基準
I	ランク A が 2 項目以上	速やかな対策が必要
II	ランク A が 1 項目もしくは ランク B が 2 項目以上	応急措置実施により、対策を 5 年未満まで延長可能
III	ランク B が 1 項目もしくは ランク C のみ	応急措置実施により、対策を 5 年以上に延長可能
健全	ランク C もなし	対策不要

備考) ①管 1 本ごとの不良ランク別に不良発生率を評価した結果に基づきスパン全体のランクを判定し最上位の評価ランクを当該スパンの評価とする。

②スパン全体の「管の破損」、「管の継手ズレ」のランク a が 1 箇所である場合、道路陥没等の社会的影響が想定されることから、上表の判定基準とは別にランク A とする。

③同一箇所で複数の不良が発生している場合には、最上位の評価ランクのみをカウントする(例 1 「管のクラック a」と「浸入水 b」が発生している場合には、最上位の評価ランク「管のクラック a」のみをカウントする)。